

○関東・中部地方の地震活動

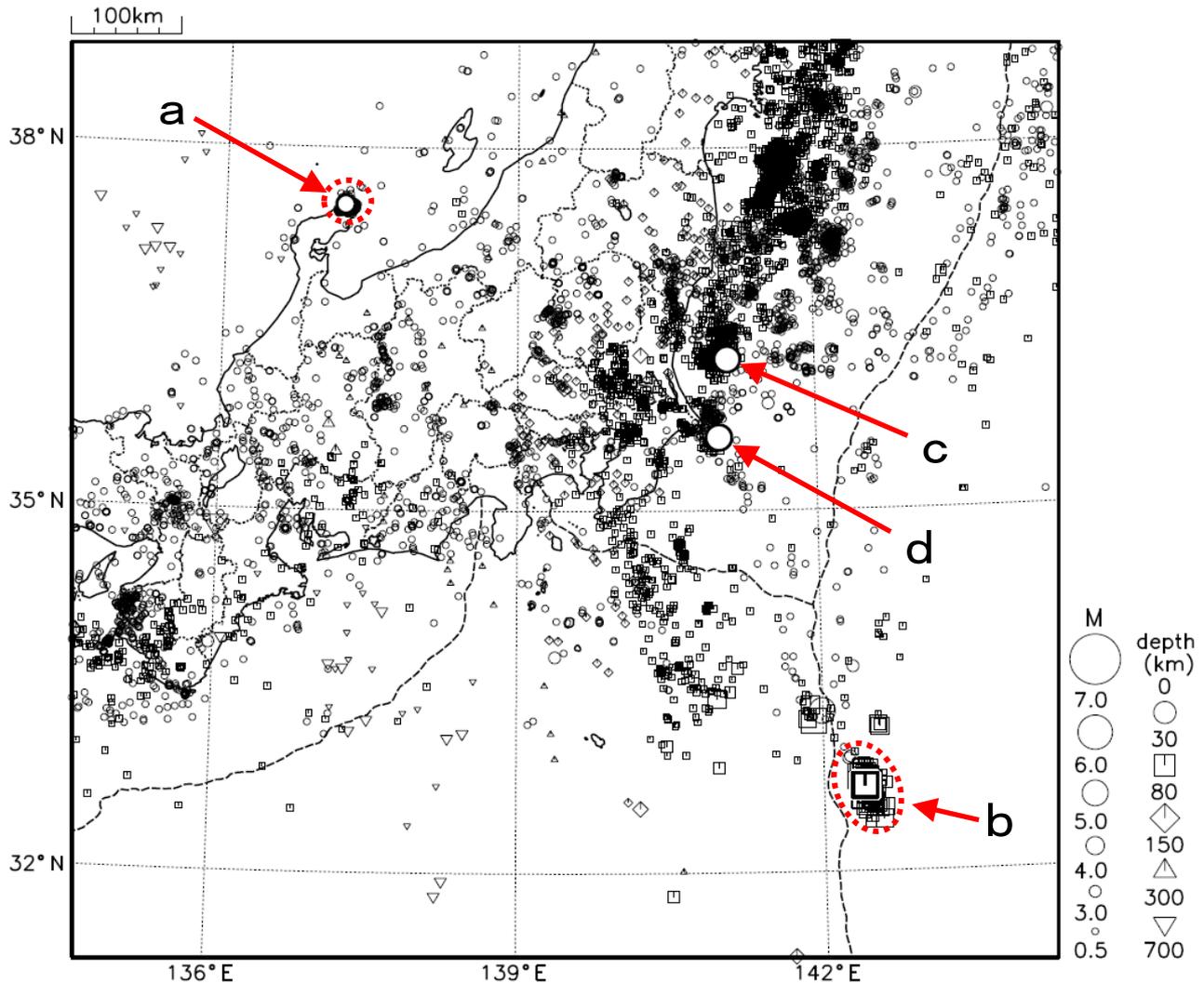


図7 関東・中部地方の震央分布図（2022年8月1日～8月31日、M \geq 0.5）

[概況]

8月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は47回（7月は55回）であった。8月中の主な活動は次の通りである。

石川県能登地方では8月中に震度1以上を観測した地震が10回（震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回、能登半島沖で発生した地震を5回含む）発生した（図7中のa）。このうち最大規模の地震は、14日19時14分に深さ13kmで発生したM4.1の地震（震央地名は能登半島沖）で、石川県珠洲市で震度3を観測したほか、新潟県及び石川県で震度2～1を観測した（p.18参照）。

八丈島東方沖では8月中にM5.0以上の地震が11回発生した（図7中のb）。このうち最大規模の地震は、4日12時39分に発生したM5.7の地震（震度1以上の観測なし）である（p.19参照）。

6日21時23分に茨城県沖の深さ30kmでM5.0の地震（図7中のc）が発生し、茨城県ひたちなか市及び東海村で震度3を観測したほか、東北地方南部及び関東地方で震度2～1を観測した。（p.20参照）。

18日13時07分に千葉県東方沖の深さ20kmでM5.0の地震（図7中のd）が発生し、茨城県及び千葉県で震度3を観測したほか、福島県及び関東地方で震度2～1を観測した（p.21参照）。